



輝く大牟田の再現のため ともに頑張りましょう

自由民主党議員団 塚本 二作 議員

12月15日 一問一答方式により質問

- 1 まち・ひと・しごと創生法の活用と輝く大牟田の再現について
(1) 同法の目的と本市の対応等
- 2 有明圏域定住自立圏(4市2町)のエコタウンエリア化と、まち・ひと・しごと創生法の活用について
(1) 本市の見解と取り組み等
- 3 次期総合計画策定の進捗状況について
- 4 来年度予算編成方針等について

来年度予算編成 方針等について

問 国は27年度、新たに1兆円超の地方創生枠を設ける方針を固めたと報道されている。この場合の本市におけるその用途は。

答 報道はあっているが、どのような内容になるかは、現時点では全く不明。今後、地方財政対策の中で明らかにされると思われるた

め、その動向を注視したい。

まち・ひと・しごと創生法の活用 と輝く大牟田の再現について

問 総理は地域ならではの資源を活かした新たなふるさと名物の商品化、販路開拓の努力を後押しすると述べているが、具体的な内容と本市の対応は。

答 ふるさと名物応援事業として、

ふるさと名物の開発や商品化、販売のための取り組みに対する支援、マーケット調査などに係る費用の一部を国が補助となっている。

本市では、今後とも国の情勢や動向等を注視した上で、制度の活用に当たりたい。



市役所内に知的障害者・ 精神障害者の就労の場を 市民の要望に応える商業政策を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀 議員

12月15日 一問一答方式により質問

- 1 大牟田市業務最適化計画とこれからの市民サービスについて
(1) 計画が目指す市役所のあり方と市民サービスへの対応(2) 計画を進める上での立ち位置
- 2 本市の障害者雇用のあり方について
(1) 障害者採用についてのこれまでの総括(2) 職場実習の総括と新たな障害種別の採用に向けた取り組み
- 3 これからの商業のあり方について
(1) これまでの商業政策の総括とこれからの商業のあり方(2) 新しい制度が始まる際の商業への影響
- 4 本市とゆかりのある方々との魅力あるまちづくりについて

本市の障害者雇用の あり方について

問 障害者別枠採用試験の新たな改善点、今後の課題を聞きたい。

答 補聴器や車椅子などの補装具の使用や拡大文字の選択など、可能な限りの受験上の配慮を行っている。より多くの方が受験できるよう、受験資格や受験上の配慮について検討していく。

問 本市では、3年間にわたり知的、精神に障害がある方を対象とした職場実習が実施された。この経験を活かし、チャレンジ雇用という一般企業への就労に向け、一定期間雇用する制度を設けては。

答 全国的には様々な取り組みがある中、知的・精神障害者の雇用は大きな課題。様々な要因を精査し、業務内容も検討していく。

これからの商業の あり方について

問 事業所数、従業員数、年間商品販売額とも減少している中、これまでの商業政策とこれからの商業のあり方を聞きたい。

答 商業を取り巻く環境変化に注視しつつ、事業者や商工会議所などの関係機関が一体となって商業振興の取り組みを進めていく。



誰もが住みなれた地域で安心 して暮らせるまちづくりを 目指すために

公明党議員団 大野 哲也 議員

12月16日 一問一答方式により質問

- 1 誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すための方策について
(1) 第11回徘徊SOSネットワーク模擬訓練(2) 愛情ねっこの活用(3) 認知症に関する国家戦略の策定(4) 大牟田版地域包括ケアシステムの構築
- 2 世界遺産登録に係る世界に誇れる大牟田の構成資産について
- 3 観光振興策としてのフィルム・コミッション活動について

認知症に関する 国家戦略の策定

問 今後の本市の認知症対策のビジョンを聞きたい。

答 多職種協働、多世代交流、地域協働という三つの視点で、認知症の方とその家族を地域全体で支え、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指している。今後も、地域や医療、介護、保健、福祉な

どの関係者や市民と一体となって認知症対策に取り組んでいきたい。

大牟田版 地域包括ケアシステムの構築

問 市長が目指す大牟田版地域包括ケアとは、一体どういうものなのか聞きたい。

答 住まい、生活支援、要支援や要介護状態とならないための予防、

医療、介護の充実等を図り、システムを構築して、まちづくりを進めていきたい。

問 オール大牟田で組織横断的に取り組みを進める市長の決意は。

答 地域包括ケアシステムは、地域での生活を支えていくまちづくりそのものであり、行政が一丸となって取り組んでいきたい。